

中学生レスキュー隊活動についてのアンケート集計結果(平成22年2月実施)

No.	カテゴリ	評価の観点	質問項目	区立中全生徒肯定率	肯定率	母比率差検定	生徒対象(全 218人)				教員対象(全 18校)				
							とてもあてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	とてもあてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	
1	全中学生共通質問項目(レスキュー隊員と他中学生との比較)	生き方の明確化(時間的展望)	将来実現したい夢や目標がある。	75.3%	82.5%	差あり	83	96	26	12					
2		生き方の明確化(自己有用感)	今の自分に自信をもっている。	43.8%	51.9%	差あり	17	95	81	23					
3		地域への帰属意識	今住んでいる地域の行事に参加している。	34.2%	55.8%	差あり	36	85	65	31					
4		地域への帰属意識	地域や社会のために進んでボランティアに参加している。	26.8%	56.3%	差あり	34	87	66	28					
5		社会貢献意識	人の役に立つ人間になりたいと思う。	88.8%	89.9%	差なし	117	79	20	2					
6		社会貢献意識	社会で問題になっていることについて、自分の考えをもっている。	66.8%	68.2%	差なし	51	97	55	14					
7		生き方の明確化	レスキュー隊に参加して、「自分が人の役に立っている」という気持ちが高まった。		73.5%		48	110	46	11					
8		生き方の明確化	レスキュー隊に参加して、きまりを破ったり、いじめをしている友達がいたら、自分から進んで注意しようとする気持ちが高まった。		63.4%		34	101	62	16					
9		生き方の明確化	レスキュー隊に参加して、人からほめられる機会がふえた。		54.5%		35	81	70	27					
10		生き方の明確化	レスキュー隊に参加して、学校の生活に充実感をもてるようになった。		56.3%		28	92	70	23					
11		レスキュー隊に参加したことによる変容	生き方の明確化	レスキュー隊に参加して、将来どんな仕事につきたいかを考える機会が増えた。		51.2%		34	74	78					25
12			生き方の明確化	レスキュー隊に参加して、勉強して身に付けた知識がいずれ仕事や生活の中で役に立つと思うようになった。		76.5%		71	92	39					11
13			地域への帰属意識	レスキュー隊に参加して、地域への愛着心が高まった。		64.6%		38	99	58					17
14			地域への帰属意識	レスキュー隊に参加して、地域の歴史や自然への関心が高まった。		55.2%		24	93	75					20
15			地域への帰属意識	レスキュー隊に参加して、地域の人々への関心が高まりましたか。		65.7%		40	100	58					15
16			社会貢献意識	レスキュー隊に参加して、高齢者や障害のある人がいたら進んで手助けをしようとする気持ちが高まった。		78.3%		63	103	40					6
17			社会貢献意識	レスキュー隊に参加して、自分より年齢の低い人に進んで手助けをしようとする気持ちが高まった。		80.3%		58	113	36					6
18			社会貢献意識	レスキュー隊に参加して、学校や社会のために進んでボランティア活動をしようとする気持ちが高まりましたか。		75.9%		57	104	42					9
19			社会貢献意識	レスキュー隊に参加して、自分がしなければいけない仕事への責任感が強くなった。		81.1%		73	99	37					3
20			社会貢献意識	レスキュー隊に参加して、自分の身の回りのことは自分で行うようとする気持ちが高まった。		77.8%		77	88	38					9
21		レスキュー隊参加による具体的成果	防災に関する知識・理解	レスキュー隊に参加して、防災についての知識が身に付いたと思う。		82.4%		91	82	26					11
22			防災への対処可能性	レスキュー隊に参加して、実際に災害が起きたときに落ち着いて対応できると思うようになった。		63.5%		40	92	57					19
1	レスキュー隊の意義・役割	生き方の明確化	レスキュー隊の活動は、生徒のリーダー性を高める上で意義があった。		88.9%						3	13	2	0	
2		生き方の明確化	レスキュー隊の活動は、自己有用感を高める上で意義があった。		94.4%						5	12	1	0	
3		社会規範	レスキュー隊の活動は、生徒の社会規範(規則遵守、礼儀等)を高める上で意義があった。		77.8%						6	8	4	0	
4		地域への帰属意識	レスキュー隊の活動は、生徒が地域を身近に感じ、地域との関わりをもつ上で意義があった。		83.3%						6	9	3	0	
5		社会貢献意識	レスキュー隊の活動は、生徒の社会貢献意識を高める上で意義があった。		88.9%						7	9	2	0	
6		学校と地域の協働の強化	レスキュー隊の活動は、地域と協働する学校づくりを推進する上で効果的だった。		100.0%						6	11	0	0	
7		学校と地域の協働の強化	レスキュー隊の活動は、区立中学校を地域に信頼される存在にするために意味があった。		88.9%						7	9	2	0	
8		地域社会の活性化	レスキュー隊の活動は、小・中学校の連携の視点から意義があった。		27.8%						0	5	10	3	
9		地域社会の活性化	レスキュー隊の活動は、地域社会を活性化するための重要な契機となった。		83.3%						3	12	3	0	
10		地域社会の活性化	レスキュー隊の活動は、地域社会の各世代をつなぐ連帯意識を醸成する上で意味があった。		82.4%						3	11	3	0	
11		地域社会の活性化	レスキュー隊の活動は、若年期から地域のことを身近に考える姿勢を身に付ける上で意義があった。		93.8%						6	9	1	0	
12	設置状況	レスキュー隊の位置づけ	貴校でのレスキュー隊の位置付けは、次のどれに当てはまりますか。				部活動 1 教育課程外(部活除) 16 生徒会活動 1								
13		担当者の人数・職種	学校の担当者は何人で、どなたが担当していますか。				1名 8 2名 1 3名 5 4名 2 5名 1 校長6 副校長18 主幹教諭5 主任教諭1 教諭8								
14	今後の課題	自校の課題	レスキュー隊の活動を推進する上での自校の課題がありましたらお書きください。												
15			教育委員会への意見・要望	参加人数の増員 4 活動の内容・方法 2 担当教員の人選 部活動との両立の厳しさ 担当者の負担軽減のための地域への委譲											
15			レスキュー隊活動を推進する上で、教育委員会への意見・要望などがありましたらお書きください。												
			訓練の回数増 三年間のローテーションメニューの構築 日程決定の配慮 合宿・見学会の継続 合宿参加者の人数増員 修了証の意義づけの明確化												